

れい わ ねん が つ にち  
令和3年6月11日

ひがしぎ ししやうがつかう  
東貴志小学校のみなさんへ

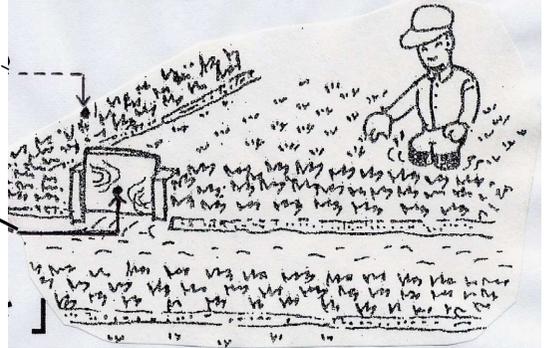
こうちやうせんせい  
校長先生より

## 「あぜ」や「せき」について

がつかう いえ た  
学校や家のまわりには、たくさんの田があります。  
ろくがつかう た みず い た  
6月になると、田に水を入れて田うえがはじ  
まります。

こめ たい ちやう みず つち  
おいしいお米は、太陽と水と土からでき  
ます。田に入れる水は、農家の人がお金を出し  
て買っています。この大切な水と土を守って  
いるのが「あぜ」(田のまわりの道のような  
ところ)です。

また、水の出し入れす  
るための「せき」  
として小さな板を入れ  
ています。この「せき」  
をはずすと、せっかく田  
に入れた大切な水が流れ



てしまい、たいへんこまります。田によっては、石  
を置いて、田に入る水の量を調整していることも  
あります。

わたし しゆしよく こめ つく のうか ひと  
私たちの主食であるお米を作っている農家の人  
にめいわくをかけないように、「せき」をさ  
わったり、「あぜ」を歩いたりしな  
いようにしましょう。